

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		-	-	-
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・今月に入り、気温の低下とともに来客数が前年比105%、売上も同104%と上がってきており、良くなっている。衣料品、住居用品、食料品等いずれも前年をクリアしている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・相変わらず、国産、輸入車の新車の売行きは横ばいだが、中古車の販売量、車検、定期点検、板金塗装関係の入庫が増えている。全体的に見て売上は少ないものの、利益率が高くなっているため、2～3か月前と比べると、内容はやや良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・レストラン部門の売上は、3か月連続で前年同月を超えており、今月も同様の見込みである。忘新年会の予約も例年以上に早く、今のところ順調に推移している。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・今月に入り秋のプランが好評で、宴会はかなり上向きになってきている。それに伴って、宿泊客も増加傾向となっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・衆議院選挙も終わり、株価上昇や政権の安定などによる安心感もあり、年末にかけて消費が上向いている。
		ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・入場予約状況は、3か月前と比較して順調であり、上向いている。ただし、予約は増加傾向だが、台風や悪天候により、実績は前年比マイナスまではいかないまでも前年並みとなってしまっている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者や建設業者の話聞いてみると、忙しいところが多いようである。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・生活必需品以外を取り扱う個人商店では客足が遠のいているとはっきり分かるようになってきている。天候も足を引っ張り、毎日苦戦を強いられている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は雨の1か月といえる。各地区の行事も台風と秋雨前線にたたられ、客は動かない。大企業は上向いているというが、一般消費は変わらない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・商圏内にショッピングセンターがオープンし、来客数減少を想定していたが、当初想定していたほどのマイナスの影響は見られなかった。今月は、気温の低下に伴いアパレルが堅調に推移しているほか、化粧品も引き続き堅調である。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・天候不順で雨の日が多く、客足が減っている。
		百貨店（副店長）	お客様の様子	・隣接する大型商業施設が開業し、広域から当地区に客が集まっている。当店の来客数は2倍になり、売上も好調に推移していたが、長雨や台風にたたられている。引き続き、婦人雑貨は堅調で、婦人服、紳士服も復調してきている。ただし、開店景気や天候不順などの特殊要素が多く、現時点では良い方向に向かっていくかどうかの判断は、しかなる。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客の新商品などに対する動きが、以前ほど敏感でなくなっているため、多少悪いのではないかと。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・3か月前から変わらない状況ではあるが、日によっては良い日がいづらから出てきた。一方で、極端に悪い日も多くなってきた。依然として悪いままで変わっていないが、浮き沈みが極端に出てきているようである。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・最近、新規の設備投資が我慢の限界なのか分からないが、2～4トン車の新規受注が相次いでいる。その一方で、車検などの整備売上は伸び悩んでいる。全体では前月と変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・商談件数が極めて少なく、成約となっても、かなり値引きをしないと客が納得しない。
		自動車部品販売店（経営者）	単価の動き	・全体的に車両販売の単価が下がってきている。単価の低い物を一生懸命売れば、それなりに売上は上がるが、固定客の客足も悪く、購買量などは減っている。価格の安さなどに心が動いているようである。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・寒暖差があり、受注は増えてきているものの、販売量はさほど増えていない。

	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	販売量の動き	・来客数が落ちていない日でも、競合店店の影響もあり、買上率が低下している。今年度はアパレル業種の前年割れが続いており、一向に回復の気配はない。
	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・3か月前と比べると軒並み稼働率が上がっている。例年10月は稼働率は上がってくるが、例年に比して大きく稼働率が上昇しているわけではないので、変わらない。
	都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・滞在型の団体客も多くあり、稼働は引き続き好調を維持している。売上も前年を上回っている。
	旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・宿泊単価が高い商材は、敬遠されがちである。
	旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・景気は堅調に推移してきたものの、この時期の衆議院選挙や今月の2度の台風による天候不順が、来客数の動きに響いている。
	旅行代理店(従 業員)	お客様の様子	・依然として客の動きが鈍い。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は降雨の日が多いせいか、多少売上が増加しているものの、夜、深夜の客は減っている。
	タクシー(経営 者)	お客様の様子	・月初めは動きが良かったものの、後半は悪く、前年同月と比べて1%の減少である。
	タクシー(役 員)	お客様の様子	・ドライバーが確保できない。
	通信会社(経営 者)	販売量の動き	・地方の景気は相変わらず下降を続けている。販売に結び付く案件、業種が偏り過ぎており、量も少ない。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・紅葉シーズンの繁忙期であるが、台風の襲来など外的要因が多々あり、来客数が減少している。
	競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほとんど変化がみられない。
	その他サービス [自動車整備 業](経営者)	お客様の様子	・客の財布のひもは固く、節約志向が強い。安全、安心は分かっているが、購入に踏み切れない客が多い状況は続いている。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・衆議院選挙があったので、来客数が若干増えるかとみていたが、ほぼ横ばいである。単価等、総体的に横ばいで変わらない。
	その他サービス [イベント企 画](職員)	お客様の様子	・イベント開催時の来客数は、若干増えているようだが、物販は例年並みである。
	設計事務所(所 長)	来客数の動き	・年末に近付いて、多少は仕事の情報が入るとみていたが、ほとんどない。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・相続資産の処分が主だが、税制の変更で優遇を受けられる物の動きが良い。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・ここのところ、不動産の動きがあまりない。貸店舗は、相変わらず空室状態で、引き合いもほとんどない。賃貸アパートへの引き合いもかなり減っている。土地は、本当に引き合いがなく苦戦をしている。
	一般小売店[衣 料](経営者)	販売量の動き	・今月中旬から当市では商工会議所を通じて、プレミアム付商品券の販売をした。1人10万円の限度額だが、あまり購入している様子はみられない。
	一般小売店[青 果](店長)	単価の動き	・野菜が高騰し、品質が悪い上に割当制など、欲しい物を欲しだけもらえず、販売に支障が出ている。
	スーパー(商品 部担当)	販売量の動き	・天候不順で、農作物への影響や来客数に苦戦している。客数減に伴い1品単価も下がっている。
	コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・今月は毎週末のように雨が降り、来客数が少なく、当然販売量も大きく後退している。
	コンビニ(経営 者)	競争相手の様子	・競合店の進出により、やや悪くなっている。
	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・天候不順もあり、来客数が大きく落ち込んでいる。来客数は前年比94.8%、単価は横ばいのため、売上は同95%となっている。
	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・観光立地のため、気温の低下に伴い、来客数が減っている。
	家電量販店(店 長)	販売量の動き	・今月に入って気温も下がり始め、電気の暖房商材が前年比5割増で推移したため、前年を若干超えて着地となる。他の商材で元気があるのは、テレビ、冷蔵庫、エアコンなどである。
	家電量販店(営 業担当)	販売量の動き	・天候が悪く雨も多いため、来客数は減少している。特に来客数が、イベントを開催しても鈍い状況である。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・衆議院選挙と台風の影響かとみているが、来客数が少ない。

	住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・異常気象が一番の要因である。そこに、突然の衆議院選挙が重なって、不安定要素が増したため、客の購買意欲に陰りがみえる。
	一般レストラン (経営者)	単価の動き	・ランチ、ディナー共に、客単価が落ちているようである。
	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・新商品発表により、新モデルの発売と型落ちモデルの値下げを期待して待つ客がいるため、販売減となっている。
	通信会社(局長)	それ以外	・企業的には人手不足だが、労働者は掛け持ちで仕事をしないと生活ができない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・本県の米の作況指数は日照不足が影響して、11年ぶりの不良である。就農世帯の割合が高い地域のため、米が穫れないと、お金は市場に出回らないというのが通説である。
	x 百貨店(営業担当)	来客数の動き	・降雨の日が前年に比べて6日多く、台風まで上陸、通過した結果、来客数が極端に落ちて、売上の低下要因となっている。3か月前と比べて悪化している。
企業 動向 関連  (北関東)	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・油圧建設機械向けの仕事が顕著に増加し、当社の協力工場のキャパシティ不足から計画した数量を納入することができない状況である。また、ロボット関連の新規受注が量産立ち上げ時期に入り、対応に追われている。
	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は当社の決算月だが、売上は前年より33%増、減価償却費、純利益共に30%増加している。
	窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量が増えている。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・ある取引先は毎月20%ずつくらい伸びており、当社の売上も毎月2割くらい増加している。他の取引先はそれほどでもない。また、仕事を手伝ってくれないかという話があちこちから入ってくるので、多少景気が良くなっているのではないかと。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・北米向けSUV車の輸出が前月に引き続き好調である。また、国内販売もSUV車を筆頭に、納車までに2.4か月かかっている。
	建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・売上の95%が公共工事である。公共工事は現政権誕生後順調に推移してきたが、前年度は減少に転じ、心配していたが、今年度は前年比16%増と安心できる状態である。ただ今年度発注は前々年の99%に戻っただけである。当社も今年度は前年比10%増の受注額で、ひと安心である。ただし、決算計上は前年度受注になるため、利益確保は厳しい。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・関係先企業や団体からは、常に人手や人材不足と聞かされ、販売も好調のようである。しかし、担い手不足のために生産が増えないことが要因でその伸びは遅い。また、家計消費も秋の長雨や台風のために伸び悩み、不完全燃焼の状態である。
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・長雨や台風の上陸、更には衆議院選挙の影響もあるのか、主力製品の出荷が予想より伸びず、変わらない。
	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・6月以降、受注は大変良く、高原状態で変わらない。
	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先が十数社あるので、会社によって繁閑がさまざままで、平均的にはあまり変わらない。
	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・今月は天候不順等により、気温も低い日が多く、季節家電のヒーター、こたつ等や、秋冬衣類等の出荷量も前年より15%増である。ただし、人手不足による車両不足で、依頼費が上昇し、特に九州、関西方面の手配運賃も高くなっている。仕事量に対して、利用便の確保が大変厳しい。
	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・管理物件の空室は相変わらず埋まらず、設備改修をオーナーに勤めているものの、良い反応が得られない。定期的な維持管理作業は天候不順によりやむなく延期することが多かったため、忙しかった割に売上は横ばいである。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・小さく良くなったり悪くなったりを繰り返し、横ばいである。我々の業界は11~12月と少し上向くので、今年も、例年どおりになっていくのではないかと。

	社会保険労務士	取引先の様子	・高付加価値商品を扱っている事業所は良いが、そうでない事業所の価格交渉は厳しい。
	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に、特段の変化はみられない。
	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・主要取引先の生産計画が相変わらず芳しくなく、当社の受注生産の減少を招いている。
	建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・発注量が例年と比べても、少ないようだ。
	広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・自動車、住宅、結婚式場などの客単価の高い業界で、売上が悪いと、広告宣伝予算が下がっている。9～10月の広告出稿件数が、前年比1割も落ちている。
	x	-	-
雇用関連			
(北関東)	人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・取引先で、派遣採用数が増えている。
	学校 [専門学校] (副校長)	求人数の動き	・大手企業の事務職求人も出てくるようになり、企業が間接業務にも力を入れてきている。
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・鉄鋼、自動車関連と電機、電子部品の募集は少し目立ったが、依然として介護職、サービス関係のスタッフ、住宅関連土木、販売員等のスタッフ募集なども、多く目立っている。住宅関連は地域的に多少誤差はあるが、修繕、改築、新築等は目立っている。全体的には非常に暗いモードである。
	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・今のところ、忙しくも暇でもなく、仕事は穏やかである。
	人材派遣会社 (支社長)	周辺企業の様子	・労働契約法の有期雇用者の通算5年での無期雇用化の話避ける企業が多く、おおむね消極的な回答が続いている上、有期雇用派遣への警戒感も広がっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・求人件数が増加しているが、求職者は少ない上、職種の不マッチによって採用は増えない。
	x	-	-